

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	生活単元		
タイトル	コロナウイルスってどうやって広がるの？		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	言葉での理解が難しく、視覚的な支援が必要である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	ウイルスの存在や広がり方を視覚的に理解し、手洗いやマスク着用の必要性を認識する。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	ていねいに手を洗う。人と会うときはマスクを着用する。咳エチケットを守る。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

ウイルスは目に見えないくらい小さい。だからどこにいるのかわからない。言葉で説明をしてもなかなか理解できない。もし目に見えたら感染防止の行動にも納得ができるのではないかと考えた。

手芸用の飾りポンポン（直径1.5cm）をウイルスに見立てて広がる様子をシミュレーションした。

- ① 人が喋ったり咳やくしゃみをしたりとすると、ウイルスが飛び散る。→口元からポンポンを机の上に放り投げる。
- ② 机を触ると手にウイルスが付く→手に両面テープを貼りポンポンを付ける。
- ③ ウイルスが付いた手で顔を触ったり人を触ったりして感染が広がる。→ポンポンが付いた手で顔を触る。お互いの肩や腕を触る。



〈成果〉

- ・ 目で見ることによってウイルスの広がりをイメージすることができた。
- ・ 納得して手洗いするようになった。

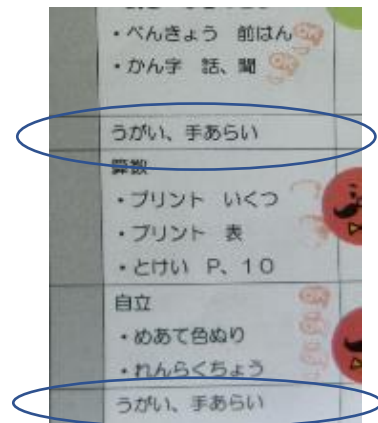
指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学級活動・日常生活		
タイトル	安心・楽しい 新しい生活習慣		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	いつもと違うことや生活の流れに不安を感じる。 指示が通りにくく、忘れてしまうことが多い。 人との距離の取り方が難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	次の登校日の見通しをもち、元気に登校することができる。 今までと違う生活パターンに慣れ、安心して過ごすことができる。 間隔をあけることで距離を保ち、同じ学級で過ごすことができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	登校日・生活パターンを視覚化する。 手洗い・うがいの習慣化 机の間隔を広く空ける。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・登下校、教室での過ごし方、給食の食べ方などについて、イラストで示した。
- ・あと何回寝たら登校するのを見通し、安心して生活できるように、カレンダーに印をつけさせた。
- ・手洗い・うがいをする時間を決めて予定表に組み込み、終わったらスタンプを押すことで、習慣化した。(図参照)
- ・「かたつむり」の歌に合わせて手洗いをさせた。自分から進んで楽しく続けることができる。
- ・机の間隔が分かるように、床にテープを貼った。時に、圧迫感が少なく、落ち着いた薄い色のパーテーションも使用した。落ち着いた色は子どもにとっても受け入れやすく、空間を区切ることもできた。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・ <u>4</u> ・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・ <u>学校生活</u> ・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ <u>自閉症</u> ・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	日常生活		
タイトル	しっかり手をあらおう！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	衛生面への意識は高くなく、ぬれたり汚れたりした手を服で拭いてしまうことも多い。 慣れないこと、苦手なことに対しては警戒心が強く、動かず様子を見るところがある。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	感染防止の観点から、日常生活の見直しがなされ、今までとは異なる動きが求められることも多い。マスクの着用やハンカチの携帯を徹底し、1日の予定表に手洗いマークを入れて、校内で決められた手洗いのタイミングを確認することで、新しい生活に慣れると同時に、衛生面での習慣を身につけさせたい。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	手洗いのタイミングを明確にし、みんなで取り組むことで衛生的な生活環境を作っていく。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・ 1日の予定表の中に手洗いの欄を作り、学校で決めたルールに合わせた手洗いのタイミングに手洗いマークをつけて、一緒に確認する。
- ・ 実際に手洗いをしたら、マークに花丸をつける。



今日の予定

		にもつ つくえに荷物をおく	
	1		
	2		
		休 み 時 間	
	3		
	4		
		給 食	
		昼 休 み	
		そ う じ	
	5		
	6		
		お 終わりの会	

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ <u>自閉症・情緒障害</u> ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学級活動		
タイトル	毎朝がんばり表		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	自分の興味のあることを優先することが多く、手を洗う等の事が難しい。また、ポケットに物が入っていることが気になり、ハンカチなど、ポケットの中にある物をランドセルにしまってしまうことがある。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	新しい生活様式に基づいた朝の準備をすることができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	興味があることをチェック表に取り入れることにより、スムーズに手洗いなどの朝の準備をすることができる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・マグネットシートの裏に興味のあるものの画像を貼り、4等分にする。朝の準備項目をマグネットシートに書き込む。(準備項目が4つ以上の場合は5等分などにしてもよい)
- ・ミニホワイトボードなどにくっつけて使用する。項目がクリアできるとその都度裏返す。全て裏返すと絵や画像が完成する。
- ・小さく持ち運びが可能のため、できたその場で裏返すことができ、達成感を感じやすい。

